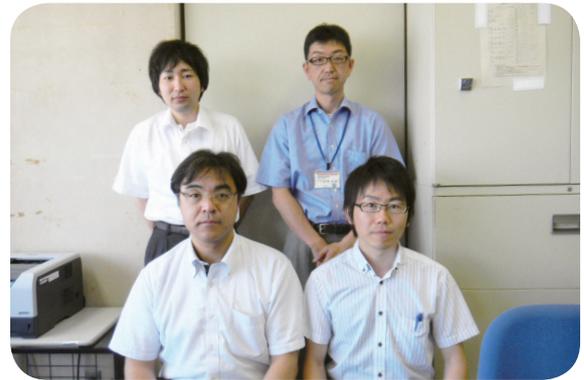


会員だより

「復興いわてのご紹介」

岩手県県土整備部
砂防災害課 主査
對馬 豪敏



岩手県砂防災害課 災害担当【筆者は右上】

◆はじめに

東日本大震災から早2年が経過しました。震災直後から全国の皆様に多大なご支援をいただき深く感謝申し上げます。これまで全国の自治体から人的支援等をいただきながら、復旧復興に取り組んできたところですが、防潮堤などの津波防災施設の復旧は未だその緒に就いたところであり、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

◆自己紹介

岩手県県土整備部砂防災害課の對馬（つしま）です。平成25年4月に当課配属となりました。岩手県採用16年目です。出身は青森県青森市。たまに津軽弁が出てきます。

◆東日本大震災などについて

平成23年3月11日発生の東日本大震災では、岩手県も大規模な被害が発生しました。港湾災も含めると県全体で2,049件の採択を受けております。岩手県の被災概要については、平成24年8月1日の月刊防災に寄稿しており、バックナンバーで見ることができますので、今回は省略させていただきます。

被災当時は県北沿岸の久慈市の事務所に勤務しており、被災直後まだ寒い時期での停電、ガソリンや食料不足などを経験してきましたので、私の体験談を少しご紹介させていただきます。

津波の浮力で橋梁上部工が落橋した現場では、各社で保管しているヒューム管を集め、被災直後で余震も続き心身ともに疲弊する中、夜間作業を行い被災から約1週間で仮設道路を完了させるなど、地元のために奮起する施工業者がたくさんお

りました。

隣の野田村にボランティアに行った時の話になりますが、青森県の三沢基地が近いこともあり、米軍基地の奥さん方が個人的な支援物資をマイカーで運んでくるところに居合わせ、国境を越えた支援を感じました。

さて、岩手県で復旧工事の課題の1つに用地取得の難航があります。防潮堤の嵩上げにより用地取得が伴いますが、海岸沿いですと漁業関係者の昔からの共有地や相続人が多岐に渡るケースもあります。解決方法の1つとして土地収用に向けた事業認定の迅速化にも取り組んでいるところです。

また、平成24年度には冬の異常低温による凍上災や豪雨災が発生し、県全体で計571件の採択を受けております。こちらの復旧も今年度に本格的に始まることとなります。

◆他県からの応援職員

岩手県では平成25年度も土木関係で全国から総勢71名の応援職員の派遣をいただいております。

その他にも県の農林水産等の他部署や各市町村への応援職員、復興事業の完了までの期限付き任期職員として採用された方を含めると、もっと多い職員の方に応援に来ていただいております。この場をお借りして感謝申し上げます。

勤務先は主に被害の大きかった沿岸の事務所になります。市街地が被災しているため、与えられた宿舎が事務所と離れているケースもあり、慣れない土地を通勤しながら勤務されているとのこと。

私の前事務所の話ですが、秋田県のFさんは平成23年秋から足掛け3年の長期に渡る派遣となっ

会員だより

ており、ご家族の事を考えると頭が下がる思いです。

◆少しだけ岩手県の紹介

最近の話題1

現在、NHK 朝ドラで放送中のあまちゃん。メインロケ地が岩手県の久慈市です。昨年、撮影エキストラの募集があり、私も子供を連れて1回だけ参加しました。私は放送では映りませんでした。前事務所の職員が映っているのを見つけると楽しくなります。



撮影エキストラ参加者に配られたTシャツ(表と裏)

最近の話題2

国際リニアコライダー(ILC)。素粒子研究の大型実験施設で31~50kmの地下トンネルと研究施設の誘致。候補地は世界で5箇所あり、国内候補地は岩手・宮城県の北上山地と福岡・佐賀県の脊振山地の2つ。7月下旬に政府が判断し国内候補地を1本化する予定とのこと。岩手に決まれば、尚嬉しいです。

最近の話題3

3年後の2016年の秋に岩手国体が開催されます。セーリング等の競技は被災した港付近で開催される予定なので、復旧工事もスピード感を持って行われることとなります。

いわてとマンガ(コミックいわて)

岩手県にゆかりのある漫画家に執筆を依頼し、岩手を題材、文化に焦点をあてたマンガを岩手県と地元新聞社で共同出版したものを。



コミックいわて 1巻と2巻

帯には「岩手県知事責任編集!!」とあり、役所のお堅いイメージを払拭したものとなっています。現在までに第2巻が販売されております。

じゃじゃめん

冷麺、わんこそばとあわせて、岩手三大麺と呼ばれてます。一頃、JR東日本のCMで女優の吉永小百合さんが「盛岡のソウルフード」と紹介され、知名度が上がった麺です。好みによって酢やニンニク等を混ぜるため、これを食べた後に打合せをすると匂いでバレます。



じゃじゃめん(中央の肉味噌を混ぜて食べます)

◆結 び

岩手県では、平成24年度は復興元年、25年度を復興加速年と位置付け、今後とも取り組んで参ります。工事が本格的に始まれば、それに比例して設計変更の件数も増えていく傾向がありますので、防災課の皆様を始め、関係機関の方々のご指導をいただきながら復旧事業を進める所存です。

全国のみなさん、今後とも岩手県をよろしくお願ひします。